



(2021～2022年度 国際ロータリー・テーマ)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



「梅香る弘道館」(水戸市)

街の本屋がなくなる？

奥野 康作 (書籍教材販売)

「街の本屋が無くなっています」と皆様も1度は耳にされたことがあるかと思いますが。これは本当です！今から約20年前には22,000店舗国内には書店がありました。現在ではその半分11,000店舗になっています。店舗として営業せずに学校などへの外商だけをしている書店もありますので、実態はもっと少ない、減っていると思います。

出版業界のピークは1996年2兆6,500億円の市場売上でしたが、現在は1兆6,700億円に減少しております。これはAmazonさんなどのネットを通じた販売も入っています。また、スマホなどで読まれる電子、デジタル売上(約4,600億円)も含まれていますので、紙の本の売上はピーク時の半分以下になっています。

要因は色々あるのですが、1番はスマートフォンの普及です。昔は「何か情報を得るために本屋に行く」という事が多かったかと思いますが、今はスマホでいつでも必要な情報にアクセスできるようになりました。その結果としての「情報価値の高かった」雑誌の売上が1兆円ほど減少し、ピーク時の3分の1になりました。色々な雑誌の廃刊が続いているのはそのせいです。

雑誌は書店へお客様が来店される1番の動機であり、収益の柱でしたので直撃です。この状況をどう打破していくのかが書店に課された大きな課題となっています。我が社もそうです…(涙)。

その課題解決の1つとして取り組んだのが「BOOK&カフェ」スタイルの書店です。居心地の良さ、空間価値を追求し、カフェとの仕切りがありません。コーヒー豆の良い香りが漂い脳を刺激します。コーヒーを買って頂ければ、自由に購入前の本を座って読むことが出来ます。6年前、水戸駅前エクセルでスターバックスコーヒーと一緒に取り組みをした結果、女性客が倍増し、売上も2割ほどUPしました。デジタル化が進む中、デジタルでは出来ない体験、価値を出していく事が1つのポイントになりそうです。人間は元々「アナログ」ですから、アナログも心地よく、癒されるんですよね…と思っています。

今年、水戸でBOOK&カフェの大型書店をOPENさせますので、アナログ派の皆様ご期待ください！スマホも必要、本屋も必要ですね。

No. 38 2022・5・31

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 岡崎恵一郎 ■幹事 白田 礼治

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



生涯に数多くの企業設立や公共事業、慈善事業に関わり、後世、「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一。今回は、「渋沢栄一と水戸」というテーマで、特に栄一と弘道館のつながりについてお話し

させていただきます。栄一は、大正5年(1916)5月28日、関東・東北・北海道感化院長協議会に中央慈善協会会長として講演をするために水戸を訪れています。77歳(数え年)の時でした。

『竜門雑誌』によると、正午近くに水戸駅に到着した栄一は、知事や市長などの出迎えを受け、人力車で水戸公会堂に向かいました。昼食後、講演会場の弘道館に徒歩で移動し、最初に見たのが孔子廟です。孔子廟の見学は、幼い頃から『論語』を読み、孔子を尊敬していた栄一のたつての希望だったと思われます。

午後1時から多くの聴衆を前に行われた講演のテーマは、「感化事業」という、栄一が実業界での活動とともに力を注いできた貧困による少年少女の非行防止と自立支援についてでした。講演の冒頭では、水戸藩の学問に影響を受けたことや徳川慶喜に仕えたことなどを述べ、「水戸と云ふ土地には甚だ深い感情を有(も)って居ります」と、水戸への特別な思いを明らかにしています。慶喜の逝去から約3年後に弘道館で講演をした栄一は、どのような思いで主君慶喜について語り、どのような思いで慶喜が大政奉還後に謹慎生活を送った至善堂に足を踏み入れたことでしょうか。

講演が終わると、栄一は当時常磐神社の横にあった彰考館を訪れ、保管されていた水戸藩二代藩主徳川光圀の書き込みが残る「大日本史草稿」などを1時間ほど閲覧し、偕楽園にも足を運んで好文亭を観覧しました。その後、いったん水戸公会堂に戻り、歓迎会に出席してから、偕楽園近くの清香亭に宿泊します。清香亭は、伊藤博文など著名人も訪れた有名な旅館でした。

翌日の5月29日は、県立商業学校(県立水戸商業高等学校)に招かれ、栄一は学生たちに経済と道徳の一致について講演し、午前11時30分の汽車で水戸を発ちました。同校『校友会誌』の大正5年購入書籍一覧には、同年9月に刊行された栄一の代表的な書籍『論語と算盤』が記載されています。

1泊2日の水戸訪問は、栄一の心に何を残したのでしょうか。水戸訪問から2か月後に栄一が語った感想が、『村莊小言』に収録されています。栄一は弘道館について、正庁に掲げられた九代藩主徳川斉昭自筆の扁額「游於藝(芸に遊ぶ)」をあげ、「六藝に通ずる士を養はんとの御精神より建設せられた」と、「六藝」つまり礼(作法)・楽(音楽)・射(弓術)・御(馬術)・書(書道)・数(算数)の教養を重視した斉昭の建学への思いを語っています。

また、偕楽園の感想は、「庭園を土農工商に公開し、衆と偕に楽しまうとの御趣意から造られたものである。園内にある好文亭の構造なども座席に上下の区別がつかぬやうにしてあり、誰でも文を好む者が其處に罷出で、君公と上下の区別なく文事を楽み得らるる構造になつて居る」と、好文亭の構造の細部まで思い起こして語っています。領民に広く入園を許可し、好文亭内でも身分の上下なく接しようとした斉昭の思いが強く印象に残ったようです。

弘道館が開館する1年前の天保11年(1840)に生まれた栄一は、幕末から明治・大正・昭和の激動の時代を生き、物心の両面において私たちに大切なものを遺して、昭和6年(1931)に92歳で永眠しました。栄一が埋葬されたのは、晩年に25年もの歳月をかけて『徳川慶喜公伝』を編纂し、名誉回復を願った徳川慶喜の墓碑が建つ谷中墓地でした。

◇ ゲスト紹介

弘道館主任研究員 小坪のり子氏

1999年（元本は1984年出版）。興味のある方は、探してみてください。

◇ 地区大会表彰

岡崎会長より、地区大会表彰の奉仕プロジェクト部門社会奉仕功労賞、地区ロータリー財団部門年次寄付累計第3位、米山記念奨学会部門寄付総額第2位が披露されました。

また、加藤啓進会員にはクラブ奉仕部門在籍40年以上会員表彰状と長寿会員表彰状が手渡されました。

後日、山崎文治会員、横須賀満夫会員には在籍40年以上会員表彰状、石井隆志会員には長寿会員表彰状が手渡されます。

◇ 会長の時間

岡崎会長

本日は、弘道館学芸員の小坪様に卓話をお願いしております。本年度の会長方針を「弘道館記」冒頭から引用させていただいておりますので、大変楽しみにしております。

弘道館のつながりで、本日は「徳川家」のエピソードを紹介いたします。

皆様、水戸に徳川家が二軒あるのをご存じでしょうか。一軒は、皆様ご存じの水戸徳川家、もう一軒は一橋徳川家。水戸藩からは将軍を出せないため、慶喜公が養子となった一橋家です。一橋徳川家は第2次世界大戦終戦まで在京でしたが、華族解体により水戸桜ノ牧に入植されたそうです。

桜ノ牧に入植されたのは徳川宗敬（むねよし）さん、幹子（もとこ）さん。ご主人の徳川宗敬さんは水戸徳川家から一橋徳川家に養子に入り、幹子さんは池田家から嫁入りしております。幹子さんお父様の池田仲博さんは慶喜公の五男、池田家に跡取りがいなかったため婿養子として池田家を相続、と言うことで幹子さんは慶喜公の孫にあたります。

鳥取藩主の流れをくむ華族で育った「徳川幹子さん」が、戦後、電気もない桜ノ牧で奮闘した自伝が出版されています。「徳川幹子 わたしはロビンソン・クルーソー、日本図書センター、

◇ 出席報告

豊崎(繁)委員

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
123名	89名	34名	76.72%

前週訂正出席率 87.50%

◇ 会員メイクアップ

5/17 北海道2500REC 磯崎 寛也

5/18 戦略計画委員会 大久保博之

5/19 水戸東RC 横須賀満夫

5/21 規定審議会結果報告会

大久保博之、高原 裕、増山 英和、高沢 彰、川名 信博、長野 久嗣

R L I 練習会

高貫 修、長野 久嗣、田中 邦彦、川名 信博

5/26 北海道2500REC 磯崎 寛也

5/27 ワールド大阪REC 内藤 学

5/30 水戸さくらRC 黒田 克己

5/31 北海道2500REC 後藤 直樹

◇ にこにこBOX

益子副委員長

白田会員……本日もよろしくお願ひします。

田中(文)会員……本日の卓話、弘道館小坪さん楽しみにしております。

小田部会員……コロナがようやく収まってきました。

沼田(元)会員……創業70年です。お陰様でありがとうございます。

篠崎会員……ノルマ達成です。

後藤会員……酒田は素晴らしかったです。

山口(政)会員……今年こそ鹿島アントラーズがタイトルを取りますように！

藤田会員……一昨日のゴルフ同好会、優勝してしまいました…。

鯉沼会員……皆様のお陰で、財団寄付100%達成致しました。ありがとうございました。

工藤会員……今月も無事に終わりました。
 篠田会員……お陰様で国際ロジテック、創立
 50周年。皆様に感謝です。
 奥野会員……娘が20才になりました。
 荻原会員……明日妻の誕生日です。

本日の合計	13件	80,000円
5月の合計	74件	423,000円
累 計	529件	3,130,800円

◇ 財団BOX

山本 圭介会員……財団の友献金
 (第1回) \$100 13,000円 (累計 \$100)

この計	1件	13,000円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

加藤 啓進会員……米山功労者献金
 (第8・9回) 20,000円 (累計 590,000円)
 益子 一彦会員……米山功労者献金
 (第8回) 10,000円 (累計 280,000円)
 後藤 直樹会員……米山功労者献金
 (第8回) 10,000円 (累計 280,000円)
 沼田 元良会員……米山功労者献金
 (第6回) 10,000円 (累計 260,000円)
 小田部 卓会員……米山功労者献金
 (第4回) 10,000円 (累計 240,000円)
 北島 重司会員……米山功労者献金
 (第9回) 10,000円 (累計 190,000円)
 横須賀 靖会員……米山功労者献金
 (第6回) 10,000円 (累計 160,000円)
 沼田 邦郎会員……準米山功労者献金
 (第6回) 10,000円 (累計 60,000円)
 海野 勝人会員……準米山功労者献金
 (第6回) 10,000円 (累計 60,000円)
 荒川 繁美会員……準米山功労者献金
 (第5回) 10,000円 (累計 50,000円)
 石川 真二会員……準米山功労者献金
 (第4回) 10,000円 (累計 40,000円)
 岡本 圭司会員……準米山功労者献金
 (第2回) 10,000円 (累計 20,000円)
 山本 圭介会員……準米山功労者献金
 (第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

この計	13件	140,000円
-----	-----	----------

◇ 幹事報告

白田幹事

1. 6月定例理事会を開催いたします。役員・理事のご出席をお願いいたします。

と き 6月7日(火) 11:30

と ころ 水戸三の丸ホテル

- 議 題 1) 退会会員について
 2) 6月・7月プログラムについて
 3) 会計報告
 4) その他

＜会員からの俳句・短歌・川柳＞

◇ 今週の俳句

あじさい
 紫陽花の 花を踊らす 雨の糸
 北島 風鳶

◇ 今週の川柳

一句無し 休む手使う この非才
 照沼 重輝
 マスク顔 見分けは顔の 上半分
 牧 厚志
 もう既に マスクは顔の 一部なり
 牧 厚志
 口元を 人目に晒す 勇気なし
 牧 厚志



週報担当 長野 久嗣 委員長

例 会 予 告

6月14日(火)
 卓話「今年度を振り返って」
 川名 信博 会員組織委員長
 清水 洋一 クラブ管理運営委員長
 高貫 修 親睦活動委員長
 高尾 哲也 青少年奉仕委員長

6月21日(火)
 卓話「今年度を振り返って」
 豊崎 一彦 職業奉仕委員長
 横須賀 靖 社会奉仕委員長
 安 圭一 国際奉仕委員長

6月28日(火)
 卓話「今年度を振り返って」
 岡崎恵一郎 会長
 白田 礼治 幹事